

国際木材保存会議年次大会（IRG54）オーストラリア ケアンズ開催での発表助成

1. 助成の趣旨と経緯

（公社）日本木材保存協会では 2017 年にベルギーで開催された IRG48 から発表者への助成制度を開始し、ベルギー大会では 2 名、2019 年のカナダ大会では 3 名への助成を行いました。2 回に渡る若手研究者の派遣により IRG 年次大会は身近な国際会議であると認識されるようになりました。その後はコロナ禍により 2020 年スロベニア大会と 2021 年日本大会ともにオンライン開催となり、対面で再度開催された 2022 年スロベニア大会もコロナ禍とロシアのウクライナ侵攻により助成者の参加は、残念ながら見送られました。

2023 年大会はオーストラリア ケアンズで対面の開催（5 月 28 日（日）～6 月 1 日（木））となります。参加を検討されている方は、是非ともご応募下さい。IRG56 日本大会は対面開催として 2025 年に行うことが決定されています。その成功のためにも、多くの方々が事前の IRG 大会にご参加されることを期待致します。

2. 応募の条件

応募者は、IRG54 にて木材保存に関する研究（口頭又はポスター）を発表することが条件です。応募者の年齢は定めません。

3. 助成人数と金額

助成者数は 2 名程度で、助成金は 10 万円/人と致します。

4. 応募締切日

2023 年 2 月 17 日（金）。なお、IRG への口頭発表フル論文の締切りは 2023 年 3 月 1 日（水）、ポスター発表要旨の締切りは 4 月 1 日（土）となっています。また、ロン・コック ロフト賞（RCA）への応募締切りは 2022 年 12 月 15 日（木）で締め切られました。

5. 申込書類と応募方法

当協会ホームページの「国際木材保存会議（IRG）年次大会発表への助成」にある申込用紙（Word 形式）をダウンロードしてご記入の上、IRG56 組織委員会委員長吉田誠 ymakoto@cc.tuat.ac.jp 宛に添付でお送り下さい。

6. 選考方法

選考委員会において助成者を決定し、速やかに（遅くとも 2 月 24 日（金）までに）応募者全員にご連絡します。

7. 報告について

助成者は IRG 年次大会の概要を当協会 会誌「木材保存」に「情報」として報告して下さい。